

2021年9月

NPO法人アジアクラフトリンク

新ストーリー：

ユーカリの食器でSDGsを実現



植林したユーカリ林

ユーカリはコアラの好物で、熱帯・亜熱帯の乾燥地帯でも短期間で生育し、植林に適した木として知られています。しかしその用途は限られており、世界でこれまでクラフト品に利用されることも少なく、いったいどんな木なのか、暮らしの中で知る機会がありません。ミャンマーでも植林されてきましたが、伐採したあと有効な利用はされていませんでした。

そこでアジアクラフトリンクでは、ユーカリを用いたスプーンや器の開発に挑戦。試作の途中、生木の臭いがきついといった課題も判明しましたが、研究を重ねて解決策を見つけてきました。そこに職人の丁寧な仕事加わり、硬くて丈夫なユーカリの長を最大限に生かし、なめらかな手触りと天然の優しい色調を備えた、世界でも稀なユーカリ製食器が誕生したのです。

さらに今、木工産地での技術支援と、山間部集落での共有林経営を、ユーカリ植林でつなぐ計画が進行中です。木工産地には原料の安定的な確保が実現し、山間部集落には木材の付加価値を高めることができます。

「植林し、森を育てる」—「ユーカリで高感度な食器を作る」—「消費者の共感を得る」

このリンクのキーポイントは、持続可能な素材を利用して、生産者の努力で良質な製品を作り出すことです。消費者の共感を得ることで市場が確保できれば地域産業が育ち、持続的な発展と人々の自立に繋がります。これはアジアクラフトリンクの活動コンセプトにもとづく、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた、私たちのひとつの答えです。皆様のユーカリ製食器のご利用により、このリンクのサイクルが回り始めます。



伐採されたユーカリ



手作りされるスプーン



高感度なユーカリのカトラリー